

2～4回目の授業研究からの学び！（まとめ）

6年生

主体性 UP！



○前時の振り返りから本時の活動、めあてなどを児童同士で進めることができた。日頃の成果が活かされた

△導入場面に時間がかかってしまった。児童同士で進めることの良さの裏返し・・・



☆前時の内に、次時の活動や流れなどを確認しておき、本時の導入では確認程度で済ませることで時間を短縮する。

5年生

「コンセプト」の共通理解を大切に！



◎コンセプトに合った意見をグループで考え、最も必要だと思ったことを全体で共有したことで、情報の整理がしやすかった。授業の導入でコンセプトやこれまでに決まったことを確認することで、共通理解のもと、話し合いを進めていくことができた。

△各グループから1つずつの意見を全体で共有したため、情報の整理がしやすかった反面、意見数が限られていた。

☆各グループでしっかりと話し合うことができていたため、自由度を少し高め、全体で一人一人が発言できるように授業設定をする。



2年生

話し合いのベースづくり！



◎児童一人一人が意見をもてるように、町たんけんを「一人一役インタビュー形式」で行った。本時では、一人一人のもつ意見が活発に交わされ、意見をもつという話し合いのベースがしっかりとつくられていた。

△活発な意見が交わされた反面、一つの論点にかかる時間が長かったため、マネジメントが必要。

☆児童の考えを拾いながら、次の論点につながりそうな意見のところを見極め、新たな論点に促していくようなファシリテートを行う。



まとめ

・低学年「自分の考えをもち、しっかりと発信できること」

・中学年「自分たちで単元の流れを決定すること」

・高学年「自分たちで話し合いを進めながら授業を進め、意思決定をすること」を目指して取り組むことができた。

☆来年度以降、自分の考えと相手の考えを比べたり、まとめたりする力、学級内で自分の考えを互いに発信していく力を伸ばしていきたい。

